

# 簡易取説 セットアップ

---

- 初めて使う場合、この取説に従いセットアップして下さい。
- 現在使用中でアップデートする場合、この取説は不要です。簡易取説\_アップデート を参照して下さい。

## インストール



---

zipファイル内のフォルダ `toShare` を適当な場所にコピー。

### 初期設定

- 実行ファイル `\toShare\toShare.exe` を起動する。
- PortNo.を設定する( `80`、`8000`、`8080` など)。
- Memoは文字通りメモです。任意です。

### サーバー機能 起動と停止

-  `Start` 押下でWeb/Restサーバー起動。
-  `Stop` 押下でWeb/Restサーバー停止。

### ファイアウォール(Windows設定)

toShare.exeと外部の送受信を許可する。 Windowsの設定によってはWeb/Restサーバー起動時に問われる。

### 初期設定の保存

PortNo.とサーバー状態は記憶し次の起動に引き継がれる。例えば

- toShare.exeの終了時にPortNo.8080でWeb/Restサーバー起動していた場合、
- toShare.exeを起動時にPortNo.8080でWeb/Restサーバー起動の状態となる。

### 自動起動

フォルダ スタートアップにtoShare.exeへのショートカットを作成。

スタートアップは「ファイル名を指定して実行()」で `shell:startup` を指定すると開く。

## データベース・バックアップ

---

管理データや予約情報はSQLiteファイル `\toShare\data\toShare.db` に保存している。 このファイルをコピーする事でバックアップ出来る。 また、DB Browser for SQLite などでも参照編集可能。

## アンインストール

---

- toShare.exeを終了しフォルダ `toShare` 削除。
- 自動起動していた場合はスタートアップのショートカットも削除。